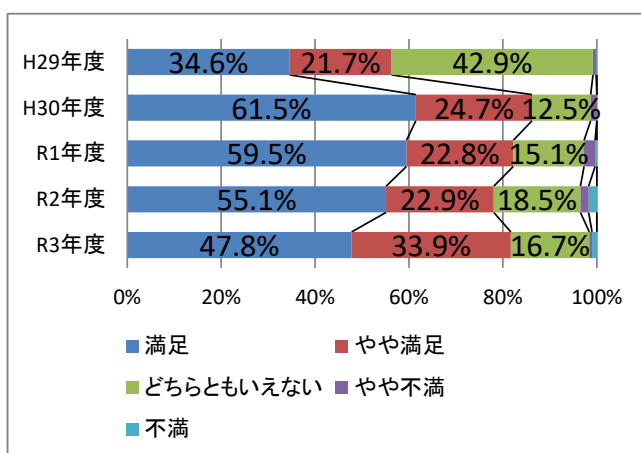


1. 患者満足度(外来患者)

	平成29年度	平成30年度	R1年度	R2年度	R3年度
満足	212	236	154	221	240
やや満足	133	95	59	92	170
どちらともいえない	263	48	39	74	84
やや不満	4	5	6	7	3
不満	1	0	1	7	5

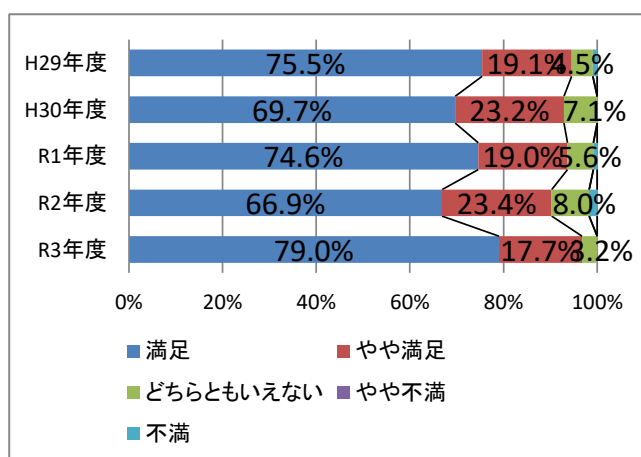


【コメント】

令和3年度は、前年度より『満足』が減少しています。
『診察までの待ち時間』が低評価となっています。

2. 患者満足度(入院患者)

	平成29年度	平成30年度	R1年度	R2年度	R3年度
満足	83	69	94	117	98
やや満足	21	23	24	41	22
どちらともいえない	5	7	7	14	4
やや不満	0	0	0	0	0
不満	1	0	1	3	0

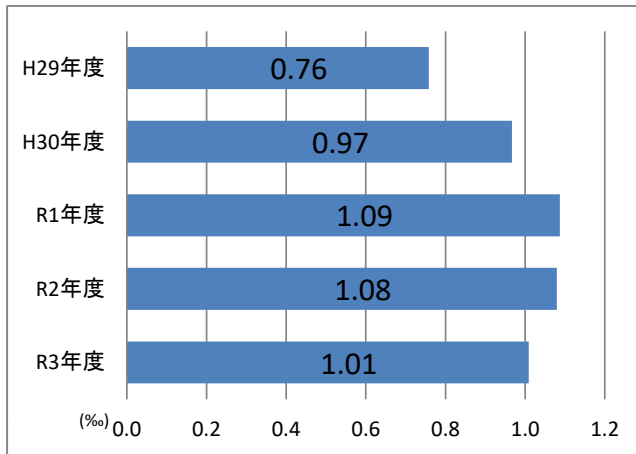


【コメント】

近年は、『満足またはやや満足』と回答した入院患者率は、概ね良好です。
例年どおり『医師による診療・治療内容』、『医師との対話』が高評価となっています。

3. 入院患者の転倒・転落発生率(%)

	平成29年度	平成30年度	R1年度	R2年度	R3年度
損傷レベル2以上	174	217	255	226	217
入院延べ患者数	229,562	224,417	234,543	209,368	215,085



【算出方法】

$$\frac{\text{分子}}{\text{分母}} = \frac{\text{損傷レベル2以上}}{\text{入院延べ患者数}}$$

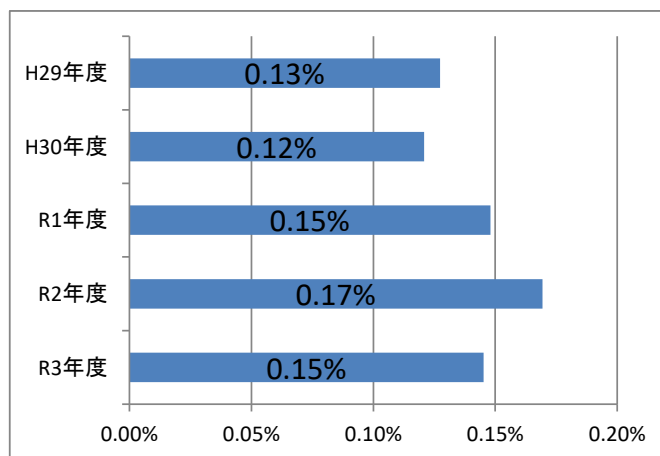
※損傷レベル2以上とは、包帯、氷、創傷洗浄、四肢の拳上、局所薬が必要になった、あざ・擦り傷を招いた軽度以上のもので、処置・治療が必要となったものをいう。

【コメント】

処置や治療が必要となった入院患者の転倒・転落発生率は、大きく変わりはありません。

4. 褥瘡発生率

	平成29年度	平成30年度	R1年度	R2年度	R3年度
d2以上の新規発生患者数	175	174	227	229	238
入院延べ患者数	137,393	144,064	153,402	135,228	163,877



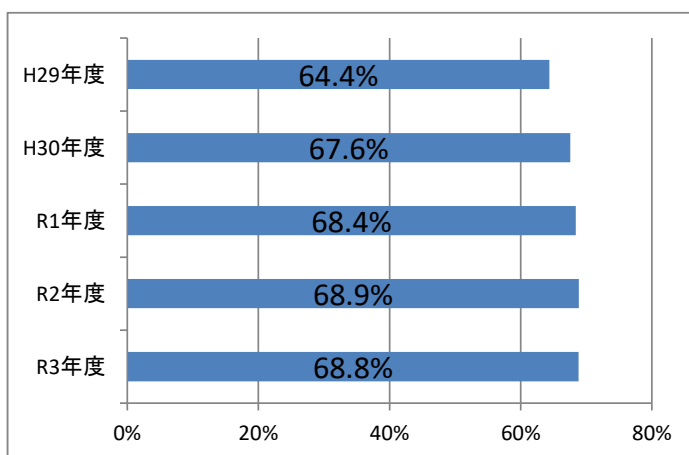
【コメント】

褥瘡発生率は褥瘡と医療関連機器圧迫創傷の発生数から計算します。
当センターは、重症度の高い入院患者が多いこと、また、入院患者の高齢者の割合も増加しています。令和3年度も、コロナの影響から酸素療法に関連したマスクやチューブでできた医療関連機器圧迫創傷の増加が特徴でした。褥瘡に関しては令和2年度より減少しています。これらを含め、褥瘡対策に取り組み、褥瘡の減少や早期発見・早期治癒に努めていきます。

※医療関連機器圧迫創傷:ギプス、点滴、酸素マスクによる医療機器等で発生している創傷のこと

5. 紹介率

	平成29年度	平成30年度	R1年度	R2年度	R3年度
紹介初診患者数	14,519	15,361	15,404	13,680	14,927
初診患者数	22,549	22,740	22,522	19,863	21,687

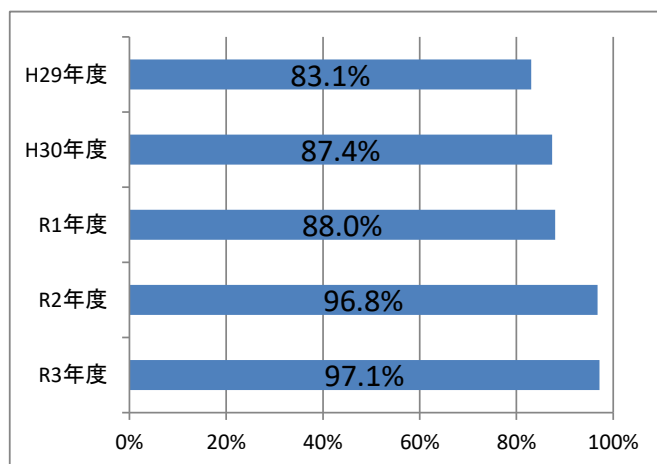


【コメント】

近年の紹介率は、ほぼ変わりはありません。

6. 逆紹介率

	平成29年度	平成30年度	R1年度	R2年度	R3年度
逆紹介患者数	18,733	19,871	19,820	19,223	21,067
初診患者数	22,549	22,740	22,522	19,863	21,687

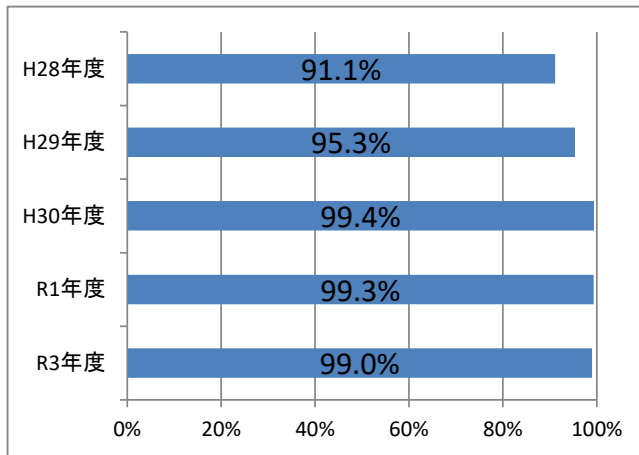


【コメント】

初診患者のうち、当センターからの紹介状を持参し、かかりつけ医等受診された患者率は増加しています。

7. 救急車・ホットライン応需率

	平成29年度	平成30年度	R1年度	R2年度	R3年度
救急車で来院した患者数	6,655	6,242	6,291	5,464	6,128
救急車受け入れ要請人数	7,302	6,548	6,331	5,502	6,191



【算出方法】

$$\frac{\text{分子}}{\text{分母}} = \frac{\text{救急車で来院した患者数}}{\text{救急車受け入れ要請人数}}$$

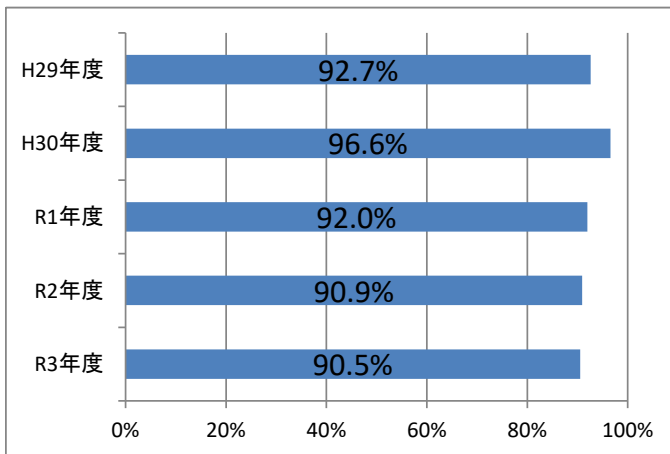
※ヘリコプターによる搬送は除く

【コメント】

救急車での受け入れ要請人数に対し、実際に来院した患者数はほぼ変更ありません。

8. 特定術式における手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率

	平成29年度	平成30年度	R1年度	R2年度	R3年度
手術開始1時間以内に予防抗菌薬投与	606	622	816	713	794
特定術式の手術件数	654	644	887	784	877

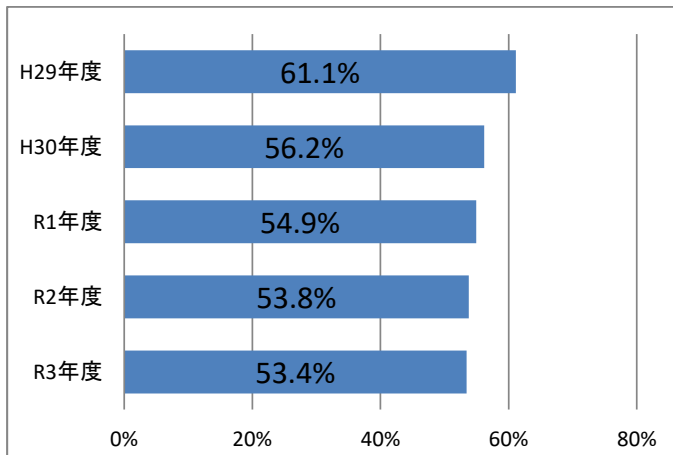


【コメント】

必要な方に対する予防抗菌薬投与は、平成29年度から90%を超えています。

9. 糖尿病患者の血糖コントロール

	平成29年度	平成30年度	R1年度	R2年度	R3年度
7.0%未満の外来患者数	7,032	6,233	5,666	6,445	5,978
患者数	11,504	11,090	10,315	11,984	11,186



【算出方法】

分子 HbA1c(NGSP)の最終値が、7.0%未満の外来患者数
分母 糖尿病の薬物治療薬が外来で合計90日以上処方されている患者

【コメント】

コントロール良好な方は、かかりつけ医に紹介していますので、70%を下回っています。